

# Tokkatsu



令和2年10月 特別活動通信 第3号

発行：鹿沼市教育委員会事務局 学校教育課指導係

鹿沼市教育委員会より、授業力向上事業（特別活動）について、各学校、及び先生方に情報提供をさせていただきます。先生方の研修に少しでも役立てていただければ幸いです。



## 板書の工夫！～可視化・操作化・構造化～

学級会では、多くの意見を比べたり、統合したりしながら話し合いを進めて行きますが、話の論点がずれてしまったり、意見が散在してしまったりすることがあります。このような場合、意見や話し合いの流れを可視化、操作化、構造化することで、話し合いをスムーズに進めたり、深めたりすることができます。そのためには、児童生徒に、実戦経験を積ませることが必要であり、継続して指導・支援することで、徐々に子どもたち自身が、話し合いの状況に応じた適切な対応を考えるようになってきます。



### 【時計】

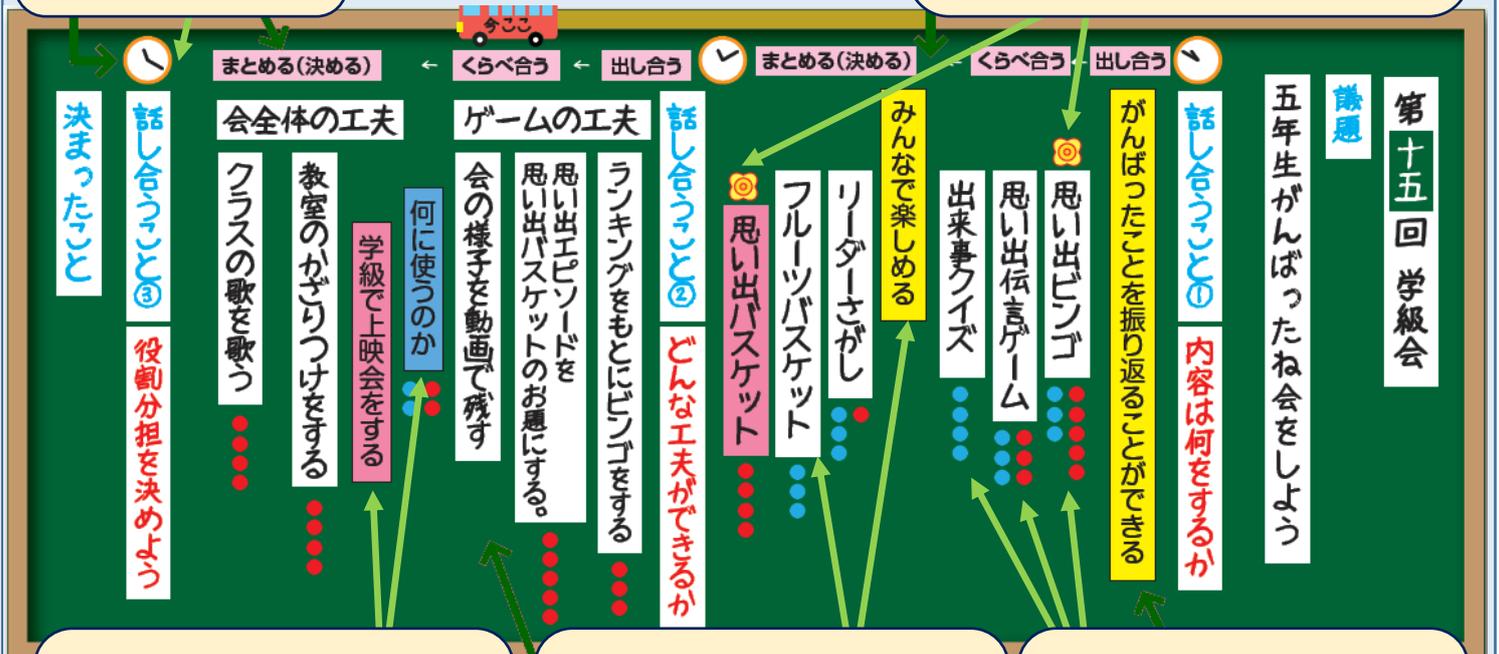
計画的に話し合いを進める目安となる。

### 【学習の流れ】

子どもたち自身が、話し合っている内容を確認めたり、話し合いの流れを見通したりすることの助けになる。

### 【決定マークの活用】

みんなで決めたことを意識化できる。  
（決まらなかった意見に「提案ありがとうマーク」の活用も考えられる）



### 【色分け短冊】

意見に対する「青：心配な点」、「赤：改善策」など学級全体で共通理解しておくとうい。

### 【短冊の活用】

意見を操作しながら話し合いを進めることができる。意見を分類・整理する場合にも役立つ。

### 【賛成、反対マークの活用】

賛成（赤）、反対（青）など色分けして示すことで、意見を可視化することができる。

思考ツールについては、上記以外にも学校や学級の実態、児童生徒の発達段階等に応じて、工夫して取り入れていただくとよいと思います。その際、あくまでも「児童の主体的な話し合いを支援するためのもの」であることが大切です。

この資料は以下の学校共有フォルダ内に保存しましたので、適宜御活用ください。

【保存場所】 O1 市教委連絡用 → O2 学校教育課 → O2 指導係 → 特別活動通信